

承認/1991年3月8日

例会日/火曜日・PM6:30

例会場/名古屋マリオットアソシアホテル

事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号

名古屋マリオットアソシアホテル2202号

TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

会長/小野 雅之

幹事/木下 福郎

会報・雑誌・広報委員長/
朝比美和子



2009-2010

WEEKLY REPORT

2009-2010年 RI会長 ジョン・ケニー

URL <http://www.meinan-rotary.com>

E-mail info@meinan-rotary.com

第885回

2009年11月24日(火) 雨 第18回

～ ローター月間～

齊唱 四つのテスト
出席 会員70名(出席率算入人数63名)
出席51名 出席率80.95%
前々回補填率98.46%(11月10日分)
ゲスト 地区ロータリー財団委員会 副委員長
名古屋丸の内ロータリークラブ
藤田 守彦さん

会長あいさつ

会長 小野 雅之さん

皆さん、こんばんは。

丸の内RCの藤田さん、ようこそおいでくださいました。この後卓話をよろしくお願い致します。

今月はロータリー財団月間です。ロータリー財団というのは、1917年にアメリカのジョージア州アトランタで開催された国際大会においてアーチ・C・クランプが全世界的な規模で慈善教育、その他社会奉仕の分野でより良き事をするために基金を作ろうという提案に始まりまして、1928年に国際大会でロータリー財団と名付けられました。1931年に信託組織となり、1983年にアメリカのイリノイ州法の法令の下に非営利財団法人となり、博愛、慈愛、人道的教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることということで進められてきたわけです。

今年度2009年から2010年にかけてジョン・ケニーRI会長は強調事項として、水・健康・飢餓・識字率向上を挙げられ、7つの優先項目ではポリオの撲滅ということを一層理解を深めていただき、ぜひともご協力いただけますことをお願いして、私のあいさつとします。

この後、地区ロータリー財団の副委員長の藤田さんから卓話をいただきますが、ロータリー財団について一層理解を深めていただき、ぜひともご協力いただけますことをお願いして、私のあいさつとします。ありがとうございました。



幹事報告

副幹事 吉木 邦男さん

1. 次回12月1日は年次クラブ総会です。なお、5時からは理事会及び委員長会議が17階「楓の間」であります。該当の方はお忘れの無いようによくお願い致します。

ニコボックス

- ◆ 本日、ロータリー財団卓話をさせていただきます。
地区ロータリー財団委員会 副委員長
藤田 守彦さん
- ◆ 藤田さん、ロータリー財団委員会の卓話よろしくお願い致します。
榊原 和美さん
- ◆ 本日は、地区ロータリー財団委員会 副委員長
藤田守彦さんによるロータリー財団プログラムの
お話しです。詳しくよろしくお願いいたします。

出田真太郎さん 山本 誠一さん 白銀 義昭さん
細井 俊男さん 中村 勝さん 新原 尚さん
牧野 好弘さん 江上 隆夫さん 林 隆二さん
杉山 隆秀さん 野々村憲吾さん 三浦 和人さん
久米 伸治さん 黒田 康正さん 水野 俊男さん
杉本 勇さん 浅井 浩さん 山崎 淳さん
児島 徳和さん 佐々木元彦さん 本多 利郎さん
小山 慎介さん 東山 直史さん 伊藤 博昭さん
田中 一雄さん 柴田 照子さん 鈴井 一博さん
中西 芳子さん 三島多恵子さん 朝比美和子さん
宮澤 伸光さん 林 正人さん 小野 雅之さん
平沼 里子さん 大橋さなえさん 田中 省三さん
川辺 清次さん

- ◆ 今年のいろいろ、すべて終わりほっとしております。日韓交流のいけ花展を最後に今年のイベントはすべて終わりました。お忙しいところお出かけ下さいました皆様、本当に有りがとうございました。
堀田 光江さん
- ◆ タベ日間賀島でフグを沢山頂きました。おいしかったです。
坂田 信子さん
- ◆ 今週の言葉 ◆

「人生は歳を取るほどおもしろい」

本日合計 51,000円 累計 928,000円

同好会報告

■ゴルフ部会

幹事 鈴木 一博さん

本日出席袋に新年会のご案内を入れてあります。是非多数の皆様方のご出席をよろしくお願い致します。場所はあつた蓬莱軒、日時は1月15日6時半からです。

先日遠征ゴルフ大会が行われ、柴田さんより帽子のプレゼントをいただきました。芹澤信雄さんのサイン付きです。前回優勝の江上隆夫さん、2位の本多利郎さん、ブービー賞の加藤宜之さんへお渡しいたします。おめでとうございます。

外部卓話

■地区ロータリー財団委員会

副委員長 藤田 守彦さん

ロータリー財団の歴史については、先ほど会長が話されましたのでご説明しませんが、あくまでも国際ロータリーとロータリー財団は別組織であるということだけ認識を願ひまして、随時ご説明していきます。

まず財団の概略をご説明します。2760地区ロータリー財団委員会には寄付を集める委員会が3つ、そして寄付を活用する委員会が5つあります。

まず「毎年100ドル」と言われています年次寄付委員会についてご紹介します。年次寄付とはポール・ハリスフェローでご存知かと思いますが、寄付の基盤であり、この寄付は使い道を指定することなくロータリー財団に寄付され、今年寄付していただいたものは3年後に使われます。なぜ3年後かと言いますと、寄付金をアメリカで3年間運用するからです。年次寄付は全部返ってきますが50%が国際財団活動資金(WF)で、残り50%が地区の財団活動資金(DDF)として使われます。昨年度、本地区は全体平均で134ドル集めることができ年々着実に増えています。恒久基金委員会は、集めたお金は一切使いません。投資したお金の利子を換金するというものです。万が一、年次寄付基金が枯渇した場合の予備として恒久基金の中にお金を貯めておくという意味であります。年次寄付は1,000ドル寄付するとポール・ハリスフェローに認定され、2回目からはマルチプルポール・ハリスフェローとして認定されますが、恒久基金は1回で認定されます。2回3回寄付されても認定は1回です。年次寄付委員会と恒久基金委員会は寄付金を集めるという目的は同じですが、中身が全く違うということをご理解下さい。

次に、財団で運用され、地区へ戻ってきた寄付金を活用する委員会は5つあります。補助金委員会は、昨年度も今年度も名南RCはソフトボールや野球ユニフォームを贈呈し障害者施設の方々と一緒にやる資金として申請されています。財団奨学委員会は、毎年のように候補生を出しています。世界平和フェローシップ委員会は、奨学生の中で優秀な子をもう少しレベルを上げた学校に入れて、国連や災害地区等へ送る為の勉強をさせる委員会ですが、本地区ではまだ該当者がいません。研究グループ交換委員会(GSE)は、職業訓練のようなもので、1ヶ月



間指定された国へ行き、勉強して戻るという役目です。財団学友委員会は、財団奨学生、研究グループ交換生のOB会です。現在本地区では430人程の学友がおりますが、実際に活動しているのは20～30名程です。この5つの委員会で寄付金を活用させていただいております。

また、寄付を集める委員会でポリオ・プラス委員会があります。ここでは寄付をもらってポリオのワクチンを買います。ビル・ゲイツ財団と共に、ロータリーは2008年から2012年までの間、2億ドルのチャレンジをやるわけでございます。

ロータリー財団もだんだんと仕組みが変わってまいります。今年のRI会長がロータリー財団の未来の夢計画を出され、将来的には補助金制度が大幅に変わります。本地区は3年間試行する地区に選ばれました。従来ですと地区の補助金だけだったのですが、これが地区補助金とグローバル補助金というものになります。グローバル補助金というのは、水や識字率の問題等、世界で問題になっていることに使いなさいという仕組みになりました。グローバル補助金は重点分野、平和と紛争予防、疾病予防(ポリオ)、水と衛生設備、母子の健康、教育と識字率の向上、経済と地域社会に使われます。例えば、今年度このクラブから水谷葉々子さんがこのグローバル補助金を使い、南米へ基本的教育と識字率向上の勉強をしに行きます。従来の奨学生ですと国も学校も決められた所に行かされました。しかし、これからはグローバル補助金を使い、自由に国や学校を選択することもできるように変わってまいります。あるいは、こちらのクラブが海外の水の無いところへ支援をするということもできるような補助金体制に変わってまいります。そのようなことで、3年間試行して上手く行けば2013年から変わるということをご理解下さい。

水の問題も色々あります。丸の内RCは、カンボジアのプノンベンから南に3時間半位のコンボットという村を5年間支援して参りました。実は水の問題が気になっており、今回錠剤の薬を持って行き、「これを使って下さい」と言ったところ、現地のドクターに「こういうものを持ってくるのは非常にありがたいが、まずは教育をしなければならない」ということを言われました。彼らは泥水や川の水は飲むのが当たり前なので、薬を飲めといっても難しいということです。我々ロータリアンはそういう事に確かに支援はしますが、さらに支援後のフォローアップが大事だと今回改めて感じました。ただお金だけ出して、衛生設備や浄水器を送ってもダメなんです。持って行っても使いません。結局は泥水を飲んだり川の水を飲んだりします。そんなことも考えながら、このグローバル補助金の使い方をもう一度考えなければと感じた次第です。

寄付した分はこうして使われるということをお話申し上げ、ご寄付をお願いしまして、ロータリー1月間の卓話を終わりたいと思います。ありがとうございました。

第887回例会(12月8日)のご案内

会員卓話 中村 勝さん